令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画(PLAN)

事務事業名	(簡水)維持管理事業	会計名称	会計名称 簡易水道特別会計						担当課	水道課				
争份争未有	(間水)粧竹目埋事未	予算科目	1	款 1	項 2	目	事業番号	8310	所属長名		野島康	手博		
事業評価の有無	■ 評価対象事業 □	評価対象外事業	(事業の)概要・	結果のみ)				担当責任者名		長岡	崇		
法令根拠等	水道法									【開始】	令和/平成	17 年度		
総合計画での	快適空間都市の創造								実 施 期 間	【終了】	令和	年度(予定)		
位置付け	潤いのある水環境づくり									【作字】】		■ 設定なし		
総合計画における 本事業の役割	<mark>+画における</mark> 調いのある水環境づくりにおいて、住環境の整備や生活安全の確保に努め、双海、中山地区の簡易水道区域内の安定的な水の供給及び安全な水づくりを行うための維持管理													
事業の対象								是田、中山、佐礼谷、 うに施設管理をす		が永木)の簡	5易水道区域内に			
事業の内容 (整備内容)	双海・中山地区の5箇所(豊田、中山、佐礼谷、村中及で 安定的に水の供給を行うために各浄水場及び配水管等の2	び永木)の簡易水 水道施設を維持管	道区域F 理する。	기(C <u></u>	手年度の課 対する具体 改善策	的な	老朽化の進んだ施設や監視装置が整っていないために施設の状態把握が困難な施設があり、今後も安定した水を供給するためには効率的な施設整備を計画していくことが必要である。							

事業活動の内容・成果 (DO)

手	₹ 未	到0.)内容・	似 牙	ξ (υυ)																											
			事	業	責	費 及	ኒ ሀ	Ķ	財	源		訳	(千	円)				事	業	活	動	の	実	績	(活	動	指	標)		
	Į	頁		E		前年度	度決算	当社	切予算額	Į :	補正予算額	継組	続費その他	也翌	生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生 生	決算額		項		目		単位	立	前	年度実績	責 1	年	度予定	9月末0)実績	1 年	度実績
	直	接	事	業	費		25, 330		32, 37	71	(0	C	0	2, 662	26,	131															
			庫支	車 支 出 金			0			0	(0	C	0	0		0	光熱水費				千	円		587	2		5826		2458		5879
	財一	県	支	出	金		0			0	(0	C	0	0		0															
	源 内		力		債		0			0	(0	C	0	0		0															
	訳	そ	σ,)	他		0			0	(0	C	0	0		0	修繕費				千	9		284	7		4767		427		4532
		_	般	財	源		25, 330		32, 37	71	(0	C	0	2, 662	26,	131															
	職員	の人	エ(に	んく)数		0.66		0.4	15						0	. 45															
	1人エ	当た	-りのノ	、件書	単価		7, 982		7, 99	92						7,	992	工事請負費	•			千	円		883	2		12814		60		10224
	※ i	直接	事業費	+人	件費		30, 598		35, 96	37_						29,	727															
		主机	は実施	主体		直接実	施				ミ施形態(补 理料・委託米							委託料				千	Э		193	7		2444		334		2077
	向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2	年度		3 年度	Ę		4	年度		5	年度			6 年	度	5年間	間の合計	t									
							20,000		20,0	000		4	20, 000			20, 00	0		20,	000		10	00, 000									
												単位			区分年度		前		年度	1		年度		2	年	度	目標	毎	年度			
			扑	1 標		水道使用料÷総務管理費用(直接事業費)×100		00		%	—	目標				100	1			100 100		100	100		100							
	成果指標		指標設	定の	考え方	水道施設を維持していくうえで、費用対効果及び受益者負 より、独立採算性がとれる事業に少しでも近づける必要が					負担のがある	の原則にる。			実績			71			50	õ										
			指標で	表也効果	ない																								•			

事務事業評価(CHECK)

改善策	な課題や当 に対する対 度の途中	市応状 源
	4	

況 日常のロガー監視や施設巡回点検結果で得られた情報については、課内職員のみならず、各水道利用組合と共有することで、施設異常の回避や早期対応が可能となる。

	医皮の途中		ロ市ジロス 亜戊(v / ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' ' '	、 石 / 戶 / 门 / 门 / 口	CXH)	S C C (、心臓以来用シンロ歴(十分)がいからましょう。
事	自		目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が		事業	日常のロガー監視や毎週の施設巡回点検結果の情報を常 に課内で共有することで、施設異常時においても適切に 対応することができ、清浄な水の安定供給につながって
	2	妥当性	社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 7 計会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B 5~ 7 : C	A	成 果	いる。
	定		市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	4	3~ 4: D		工夫	
務	~ ^		事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	4	合計点が		へ し た	
	担	有効性	成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 7 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	A	点事	老朽化の進んだ施設や遠隔監視装置が整備されていない
	当		施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。	3	5~ 7 : C 3~ 4 : D		業 の	施設があり、今後はさらに効率的な施設運営を行えるよう施設整備を実施する必要がある。
事	責 任		手段の最適性	1 施策推進につながっていない。 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 最適な手段であるが、更に民活、他事業との献合・連携等の検討の余地がある。 2 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3	合計点が		苦労し	
	者	効率性	コスト効率	5 投入コスト則政の成果を得ており、コスト削減の半地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	В	た 点	
Alle.	\smile		市民 (受益者) 負担 の適正	- 一	3	5~ 7 : C 3~ 4 : D		· 課 題	
業			目的の妥当性	地東の目的を果たすといい。 地東の目的に沿った事業である。 機様の目的に沿った事業である。 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が		事	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する
	_	妥当性	社会情勢等への対応	5 社会情勢等の二一次に合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	A	業の	□ 事業廃止と判断する
o o	次		市の関与の妥当性	おかり は ままがらいかしている アンス には アンダ にいる。 おかり 種的に関与・実施は 妥当と判断できる。 今のところ市の関与・実施は 妥当と判断できる。 市は関与しないで、民間や市民団体等に 委ねるべきである。	4	5~ 7 : C 3~ 4 : D		の方	(判断の理由) 簡易水道区域内に安定した水道水を供給するために必要 な事業であるため、事業継続と判断する。
	定		事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1	4	合計点が		向	
	~	有効性	成果向上の可能性	1 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	A	性	簡易水道の維持管理事業は、各簡易水道施設を円滑に運
評	所		施策への貢献度	り 施策推進への貢献は多大である。 施策推進に向け、効果を認めることができる。	4	5~ 7 : C 3~ 4 : D		属	間の水道の解析自生事業は、「間の水道に成る「目に産 転管理し、安全で安定した水道水を供給する重要な事業 である。しかし、施設の老朽化や遠隔監視装置が整備さ れていないなど施設の現状を的確に把握し、計画的な施
	属長		手段の最適性	1 施策推進につながっていない。 現状では最美の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 7 というないでは、というないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	3	合計点が		長 の	設更新を行うと共に、効率的な運営を図る必要がある。
	₩	効率性	コスト効率	1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3	14~15 : S 10~13 : A 8~ 9 : B	В	課題	
価			市民 (受益者) 負担 の適正	1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3	5~ 7 : C 3~ 4 : D		認識	

		一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	
施			
策	=		 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進
	_	■ 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	 に努め、今年度の事務事業評価シートに 反映させること。
を		一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	مر در ما
踏	次		
ま			
え	判	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<i>t</i> =			
	4		
判	定	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
断		□ 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		□ 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	
行	外	答申の内容	
政 評			
価委	部		
委員会	評		
の	āT		
答 申	価		
今後の方	向性 (ACTION)		
		事業の方向性	
	の経	さらに重点化する。	
	最営	現状のまま継続する。	
	終者 判会	見直しの上、継続する。	
	断議	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
		事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	